一般社団法人岐阜県リハビリテーション協議会

**第６回社員総会**

**◆開催日時　 令和６年６月29日(土)　19：30～21：00**

**◆場　所 岐阜水産会館内　岐阜県リハビリテーション協議会事務局**

 **〒503-0803　岐阜市薮田南1丁目11-12**

**＜＜総　会　式　次　第＞＞**

**１．資格審査報告（事務局）**

〇代議員総数：28名 出席：　　　名

議決権行使書提出：　　　名

**２．議　案**

 第1号議案：2023年度活動経過報告

第2号議案：2023年度会計決算報告及び監査報告・意見書

 第3号議案：第4期役員体制について

**３．報　告**

第１号：2024年度活動方針及び計画（案）

第２号：2024年度会計予算（案）

**４．その他審議・報告事項等**

　 (注)　団体名の省略使用 公益社団法人岐阜県理学療法士会：ＰＴ士会

一般社団法人岐阜県作業療法士会：ＯＴ士会

岐阜県言語聴覚士会：ＳＴ士会

**■第1号議案：2023年度活動経過報告**

ポストコロナにおける各種事業のリニューアルをしてのスタート（リスタート）を活動方針として、今年度事業を進めました。高校生1日体験では、コロナ下で、リハビリの体験が施設内実施に制約がある中で、プロモーションビデオを制作・活用した体験を行った。次年度から通常の施設内での体験に戻るが、今後の啓発活動に活かせる資本として残すことが出来ている。地域ケア推進部における岐阜県からの補助金、助成金を活用した各種事業や市町村との協定契約における事業も通常開催に戻り、順調に実施が出来ていました。

何をおいても、特筆すべきことは、能登半島地震の発生と当協議会・災害対策本部の設置発動です。有事を想定して準備していたマニュアルや取り決めは、率直に申して「機能せず」でした。他県での発災であり、災害対策本部の用務は、災害リハビリチーム(岐阜JRAT)の派遣調整、石川JRAT,中央JRAT本部との情報共有でした。チーム派遣における施設長の許諾、1施設でのチーム編成の限界、派遣人員がかなり限定的であることなど課題が浮き上がりました。かなり平時の準備を進めていく必要があります。一方で、災害リハビリにおいて懸案であった岐阜県との協定締結がついに達成された点は大きな前進であります。災害リハビリ支援活動における必須条件を満たした形です。今後、行政との連携を含め、有事の際のマニュアルや体制整備を進めて参ります。

事業実施の中でｅスポーツ活用による介護予防への関わりを行った。事業委託先との連携不足で効果検証は充分できなかったのは残念であり、また、単年度事業であったために今後への契機がなく、ＤＸを意識した事業は足止まることになった。

法人運営に関しては、事務局体制が強化され、法人にふさわしい形が出来てきていることは評価できる。一方で、財務状況は非常に厳しい中での会務運営になっている。運営経費は漸減しており、収入を確保する手段の模索は続いている。ホームページの作成においては、委託先の事情などからかなり時間を要している大枠は完成し、細部調整に入っているので近日中の公開に至れる予定です。

**【法人運営】**

**１．理事会**

〇第１回：令和５年7月11日（月）　WEB開催

出席：理事６名、監事２名、顧問1名、オブザーバー1名(事務局総務部担当)

〇第２回：令和５年11月９日（木）　WEB開催

出席：理事６名、監事２名、顧問1名、オブザーバー1名(事務局総務部担当)

〇第３回：令和６年3月６日（水）　WEB開催

出席：理事7名、監事１名、顧問1名、オブザーバー1名(事務局総務部担当)

〇会計監査：令和5年6月初旬

**２．運営体制の整備**

１）事務局運営体制の整備：共有メールの開設（Gmail）

２）役員会の円滑な運営：Web会議の円滑化を図るためZoomの有料契約

３）適切な財務会計の実施：公認会計士と契約、（公）岐阜県理学療法士会より会計ソフトを借用

４）報酬支払規程の改正

５）公文書取扱いルールの設定

６）その他管理運営にかかわる事項の検討

**３．渉外活動の拡充**

１）広報活動

①ホームページの開設準備：「インテグレ社」と作成・運用契約

②会員への会報誌：OT士会では、会報誌へ投稿継続(年4回)

２）渉外活動：行政、関連団体と事業の実施手順等確認

３）「ぎふこども福祉機器展」（PT士会主催）への運営参加

〇「協賛」による参加

〇OT士会、ST士会より運営役員を選出して、それぞれの専門性を活かすよう参加。

**【事業】**

**１．リハビリテーション普及啓発事業**

　○「高校生オンラインリハビリ見学会」

・昨年度に引き続きオンラインにて開催した。

＜開催日＞　2023年8月4日（金）、6日（日）　計2日間

＜場　所＞　県内施設などから動画配信（Zoomを利用）

＜参加数＞　12名

＜内　容＞　理学療法･作業療法・言語聴覚療法の模擬臨床場面を撮影したものを視聴してもらい、

その後、質疑応答を行った。

**２．地域包括ケア推進部**

〇渉外活動

・令和5年度も前年度に引き続き、岐阜県高齢福祉課の「介護予防専門職地域派遣事業補助事業」、および岐阜県医療福祉連携推進課の「理学療法士等人材育成研修委託事業」に対応した。また協定を締結している各務原市については、「リハビリテーション専門職によるフレイル予防教室」および「各務原市訪問型サービスC事業」、「各務原市フレイルチェック事業」に協働した。関市とは「地域ケア会議への派遣」契約を結び、関市内のセラピストを派遣した。また岐阜県高齢福祉課より「高齢者におけるｅスポーツの普及」に関わる企業との協働を依頼され、受託企業である株式会社ＧＯＣＣＯ様と共にｅスポーツ実施高齢者の評価分析を行なった。

①岐阜県医療福祉連携推進課からの委託「理学療法士等人材育成研修委託事業」

※4種類、全8回開催

・地域包括ケアシステム推進研修会　　10月22日（オンライン研修）

11月25日、26日（対面研修）、12月17日（対面研修）

・訪問リハビリテーション実務者研修会　　11月18日、19日（オンライン研修）

・リハビリテーション情報共有研修会　　12月3日（オンライン研修）

・言語障害関連リハビリテーション研修会　　12月10日（オンライン研修）

「食・栄養」を通じて岐阜を元気にしたい！ カムカムスワローの取り組み

　医療法人社団登豊会　近石病院 歯科・口腔外科　言語聴覚士 蛭牟田誠 先生

「吃音の支援とは 〜吃音の悪化を防ぎ、楽な連発で過ごせるために〜」

　JA岐阜厚生連飛騨医療センター 久美愛厚生病院 言語聴覚士 田宮久史 先生

「吃音で悩んだ経験からお伝えしたいこと 〜吃音のある子どもに本当に必要な支援とは〜」

長野県小諸養護学校 教諭 髙山祐二郎 先生

②岐阜県高齢福祉課からの補助金事業「介護予防専門職地域派遣事業」

・12自治体より104件の派遣要請に対応。

③各務原市からの派遣型介護予防教室「リハビリテーション専門職によるフレイル予防教室」

・市内の高齢者サロン事業への講師派遣14件

④各務原市からの「各務原市訪問型サービスC事業」

・4名の対象者に41回の講師派遣

⑤各務原市からの「各務原市フレイルチェック事業」に協働

・市のフレイル予防推進委員会に4名が委員として就任

⑥関市からの「地域ケア会議への派遣」

　　・関市地域ケア会議への出席10回対応

⑦ｅスポーツ普及活動への協働

・参加者のＴＭＴ結果を集計分析（受託企業に提出）

**３．災害リハビリテーション対策部**

〇災害対策部の事務局変更：大垣市民病院⇒岐阜県立多治見病院

＊任期2年の圏域輪番制：岐阜⇒西濃⇒東農⇒飛騨⇒中濃⇒岐阜

〇岐阜県災害医療関係機関体制整備事業：岐阜JRAT・青木先生、協議会・柴のオブザーバー参加

〇災害リハ研修会（四師会による災害時の医療救護活動に関する協定に基づく災害医療研修会）：

＜開催日＞　2024年11月23日（祝）

＜場　所＞　ハイブリッド(会場：岐阜県医師会館)

＜内　容＞ 第1部「岐阜JRATにおける災害リハ体制の構築と派遣経験」

　　　　　　　　　　講師：愛知医療短期大学リハビリテーション学科作業療法専攻教授・廣渡洋史教授

　　　　　　　　　第2部「被災地における支援活動とその取り組み」

　　　　　　　　　　講師：一社）安芸地区医師会総合介護センター統括所長・板屋裕美先生

＜参加者＞25名

〇災害拠点病院意見交換会

　＜開催日＞　2024年11月23日（祝）

＜場　所＞　ZOOM開催

＜内　容＞ ・有事に向けた体制整備

 ・岐阜県との協定締結　他

〇能登半島地震関連

１）岐阜JRAT派遣支援活動

・チーム派遣：4チーム(岐阜大学付属病院、岐阜県立多治見病院、高山日赤病院、大垣市民病院)

・ロジ派遣：辻量平(大垣徳洲会病院)・土井藤剛(中津川市民病院)・市原邦夫(岐阜県立多治見病院）

２）災害対策本部活動

　**４．広報部**

〇ホームページの開設運営の検討：インテグレ株式会社との打ち合わせを実施し2024年度６月運用

開始できるよう進めた。HP開設経費17万円(年額)

〇会員への会報誌：PT・OT・ST士会では、会報誌へ投稿を随時行った。

　**５．リハビリ施設情報交換会**

〇令和6年度診療報酬・介護報酬及び福祉制度のトリプル改正に関係した情報交換会の設定・準備

**第2号議案：2023年度会計決算報告及び監査報告（別紙添付資料「収支計算書」参照）**

**第３号議案：第4期役員体制について**

**■組織体制：任期 2024/04/01-**2026年定時総会終了まで

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 氏名 | 所属 | 職種 | 分掌 | 補職 |
| 代表理事 | 柴 貴志 | 岐阜県立多治見病院 | OT | 会長 | 災害対策本部長 |
| 理事 | 須貝 里幸 | 大垣市民病院 | OT | 副会長 | 施設情報交換会 |
| 理事 | 佐野 和幸 | 松波総合病院 | ST | 副会長 | 広報部長 |
| 理事 | 村雲 憲 | 東可児病院 | PT | 事務局長 | 　 |
| 理事 | 河合 克尚　 | 平成医療短期大学 | PT | 総務部 | 　 |
| 理事 | 君垣 義紀 | 博愛会病院 | OT | 財務部 | 　 |
| 理事 | 岸本 泰樹 | 合同会社　リハの木 | PT | 　 | 地域包括ケア推進部 |
| 理事 | 久保田 将成 | 岩砂病院・岩砂マタニティ | PT | 　 | 社会保障制度対策部 |
| 監事 | 山本 紀子 | 土岐総合病院 | OT | 監事 | 　 |
| 監事 | 倉知 雅史 | サンビレッジ国際医療福祉専門学校 | ST | 監事 | リハ普及啓発事業部 |
| 顧問 | 青木 隆明 | 岐阜大学医学系研究科　特任准教授 | リハ医 | 顧問 | 　 |
| 顧問 | 森 憲司 | 岩砂病院・岩砂マタニティ　副院長　 | リハ医 | 顧問 | 　 |
| ＊事務局員　（社）岐阜県理学療法士会事務局・伊藤氏　嘱託契約 |

**■代議員任期　2024/4/1～**2026年定時総会終了**まで**

**報告：第１号　2024年度活動方針及び計画**

**【基本方針】**

新型コロナウィルスは5類へ移行して落ち着きを見せたものの能登半島地震により1月からの短い期間で激しく変化した1年となり、その余韻をもって今年度が始まっております。4月26日に当協議会と岐阜県で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定書」を締結しました。一方では、マニュアルで描いていた災害対策本部がこれまで机上の論理で実際場面での不備も露呈しました。有事に備えるために、今年度はその課題解決と整備を進めていきます。そして、災害リハビリの出口となる地域リハビリテーションの発展を意識し各種事業の取り組みを強化します。

リハビリ普及啓発事業部では、これまでの「高校生1日体験」を「高校生リハビリインターンシップ」に改称して、コロナで中断した施設現地でのリハビリ体験を再開します。少子化でも選ばれる職種になるよう高校生から中学生に対象を拡大していくことも検討していきたい。地域包括ケア推進部においては例年のよう岐阜県、協定締結自治体との事業を継続する予定です。この領域は、地域リハビリテーションと関係の深い領域で、自治体の事業主体性を踏まえながら実施をしていきます。また、今年度の地域リハビリの展開において、障がい福祉領域への拡大を意識した取り組みも検討を進めている。災害リハ推進部においては、今回の能登半島地震を振り返り、準備されているべき経時的な流れで必要であった体制を再検討して、今後に備えていきたいと考えます。ポストコロナからポスト震災です。

法人運営においては、ヒトと財において組織強化を図る必要があります。各部の運営体制を拡大し、事業に関わるヒトをふやし、今後につなげていく人材育成を進めていきます。次期に向けての体制構築を強化します。懸案は財務事情です。法人活動を裏付けていく資金の確保策を講じる必要があります。理事会に中で検討を進めます。

**【法人運営】**

**１．理事会**

〇第１回：令和6年　7月

〇第２回：令和6年　11月

〇第３回：令和7年　2月　　　＊いずれもZOOMによる会議

○会計監査：令和7年5月予定

**２．法人運営体制の整備**

１）事務局運営体制の整備

２）役員会の円滑な運営：WEB開催

３）適切な財務会計の実施：補正予算、決算書作成

４）その他　管理運営にかかわる事項の検討

５）広報活動

①ホームページの開設運営

②事務局看板の設置

③会員への会報誌：随時各士会会報誌への投稿、HP活用

**【事業】**

**１．リハビリテーション普及啓発事業**

　○「高校生リハビリインターンシップ」(旧一日体験)と名称変更して開催予定。

　　・４年ぶりに県内の病院・施設にて現場開催を計画中。

**２．地域包括ケア推進部**

〇渉外活動：県庁訪問、依頼市町村対応等

〇岐阜県との補助金・委託金関連事業の実施

　　　１）岐阜県高齢福祉課：介護予防専門職地域派遣事業補助金事業

事業名　 ①介護予防専門職地域派遣事業

２）医療福祉連携推進課：理学療法士等人材育成研修委託事業

事業名　 ①地域包括ケアシステム推進研修会

②訪問リハビリテーション実務者研修会

③リハビリテーション情報共有研修会

④言語障害関連リハビリテーション研修会

2024年内にオンラインにて実施予定　　対象：PT・OT・ST・関連職種

〇市町村との契約によるリハビリ提供

　　　１）各務原市　　２）関市　　３）その他新たな契約希望市町村への対応

　　　〇障がい福祉領域への地域リハビリテーション展開の検討

**３．災害リハビリテーション対策部**

　　〇災害リハ研修会の開催：

１）開催時期：11月初旬

２）「能登半島地震の振り返りと課題」(予定)

〇災害リハ体制の整備検討

1. 協定締結後の岐阜県医療整備課との調整・検討、②四師会災害時連絡体制、岐阜県災害医療関係機関体制整備事業、③その他

　　　〇岐阜県3士会合同災害対策・事務局の輪番制（岐阜県立多治見病院、R7年度より飛騨地区へ）

 ⇒岐阜～西濃～東農～飛騨～中濃の順、各2年任期

**４．広報部**

〇ホームページの開設運営（2024年度運営開始予定）

〇会員への会報誌：随時各士会会報誌への投稿、HP活用

岐阜リハ協議会の会報誌は、予算を勘案して発行を検討する。

**５．リハビリ施設情報交換会**

　　　〇施設間の情報交換会の企画・運営

令和6年4月26日開催

第1部：講師；公社）日本理学療法士協会　野崎展史氏　「トリプル改正のポイント」

第2部：医療系/介護系に分かれて施設情報交換会

　　　〇次回に向けての企画検討

**６．社会保障制度対策部**

　　　○リハビリ施設情報交換会にて診療報酬、介護報酬改定をテーマに研修会を企画、実施。

令和6年4月26日開催

講師　日本理学療法士協会　野崎　展史氏

　　　○報酬改定についての、疑義解釈等の情報共有（ホームページへの掲載）

**７．「ぎふこども福祉機器展」への運営参加**

〇令和６年度共催　運営委員（OT/ST）選出

〇令和７年度に向けての運営継続

**🔳報告　第2号　2024年度会計予算（案）　別紙「予算（案）」参照**

**■組織体制：任期 2022/04/01-**2024年定時総会終了まで

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 理事役職 | 氏名 | 所属 | 職種 |
| 会長 | 柴 貴志 | 岐阜県立多治見病院 | OT |
| 副会長 | 村雲 憲 | 東可児病院 | PT |
| 須貝 里幸 | 大垣市民病院 | OT |
| 佐野 和幸 | 松波総合病院 | ST |
| 事務局 | 舟木 一夫 | 羽島市民病院 | PT |
| 理事 | 岸本 泰樹 | 合同会社　リハの木 | PT |
| 君垣 義紀 | 博愛会病院 | OT |
| 監事 | 渡邊 紀子 | 土岐総合病院 | OT |
| 倉知 雅史 | サンビレッジ国際医療福祉専門学校 | ST |
| 顧問. | 青木 隆明 | 岐阜大学医学系研究科　特任准教授 | リハ医 |
| 森 憲司 | 岩砂病院・岩砂マタニティ　副院長　 | リハ医 |

＊事務局員　（社）岐阜県理学療法士会事務局・伊藤氏　嘱託契約

**■代議員任期　2022/4/1～**2024年定時総会終了**まで**